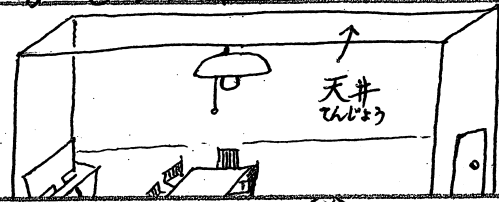
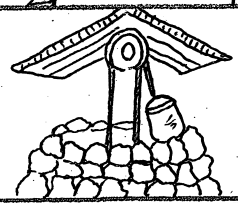


てん、じょう
天井 →



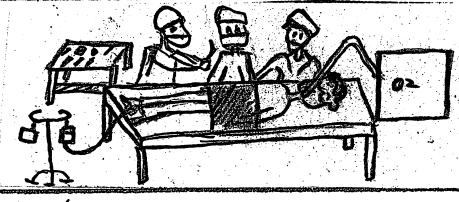
しつない じょうぶ は いたか
室内の上部に張った板壁。

い じょう
井戸 →



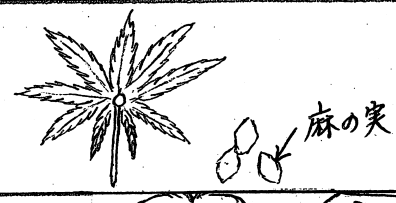
ち ほ ちがすい す
地を掘って地下水を吸い
あ上げ、または汲み取るようにし
たもの。

ま すい
麻酔 →



しじやく (く)
手術などのときに薬をかつ
て、体の神経をまひさせ、痛
みを感じないようにすること。

あさ み
麻の実 →



かじつ
アサの果実。

しん すい
心酔 →



ものごと ころ
物事にふけって、心を
うばわれること。

ふな よ
船酔い →



ふね ゆ
船の揺れによつて
気分が悪くなること。
きぶん わる

しゅ よう
腫瘍 →



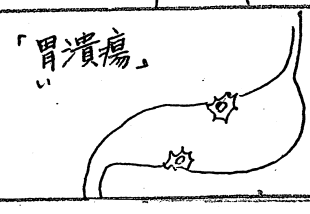
ぶくろ ぶくろ ぶくろ
臓器や組織中の腫
もの
物。こぶ。

な は
泣き腫らす →



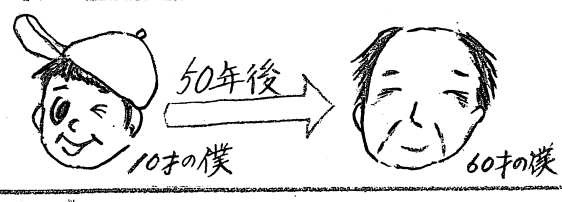
なが な
長く泣いて、まぶた
をほらす。

かい よう
潰瘍 →



ひぶ ねんまく いちぶ
皮膚や粘膜の一部
がただれること。

さい げつ
歲月 →



としつき。
ねんげつ。

せい ぼ
歳 暮 →



さいまつ おくりもの
歳末の贈物。
せいぼ
お歳暮。

きん きゆう
緊急 急 →

さいがい ほうさい
「災害が発生したため、
緊急事態になる」



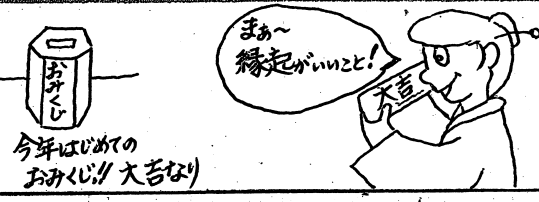
こと せま たいすく
事がさし迫って、対策を
急がなければならぬこと。

きん ちゆう
緊張 張 →



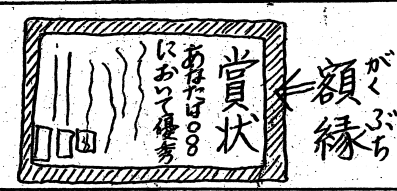
ひきまると。
はりつめてゆるみのないこと。

えん き
縁 起 →



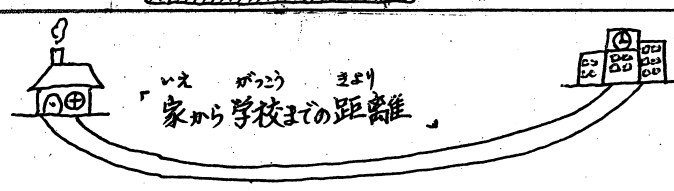
ききゆう ぜんちゆう
吉凶の前兆。キギシ。

がく ぶち
額 縁 →



かいが しゃしん しょうじゆう い
絵画・写真・賞状などを入
れて掲げるための枠。

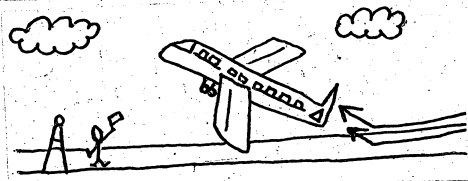
きょ り
距 離 →



いえ がっこう まより
「家から学校までの距離」

ち むす なが
2点を結ぶ長さ。

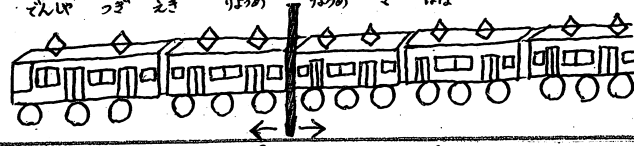
り りく
離 陸 →



ひこうき りくち
飛行機などが陸地か
ら空へ飛び立つこと。

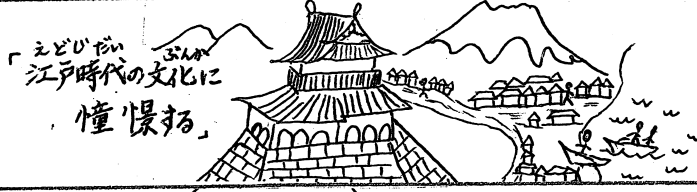
き はな
切り離す →

「この電車は次の駅で2両目と3両目を切り離します」



き べつべつ
切って別別にする。
ぶんり
分離する。

しょう けい
憧憬 憬 →



「えどじだい ぶんか
江戸時代の文化に
憧憬する」

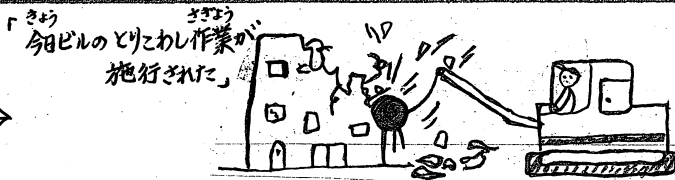
あこがれること。

あこが ひと
憧れの人 →



ひと
その人にあこがれること。

し、こう
施行 →



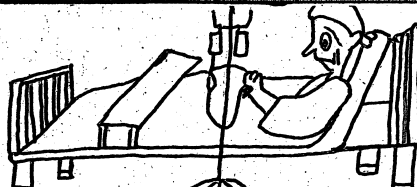
じっさい おこな
実際 = 行うこと。

おんけい ほどニ
恩恵を施す →



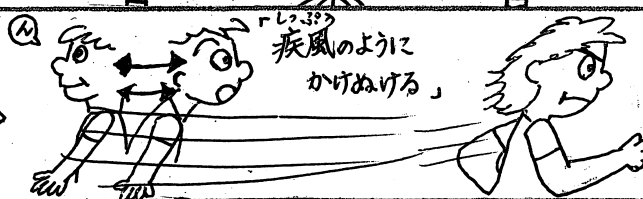
めぐみ ひろく 恵み
恵みを広く与える。

しっ かん
疾患 →



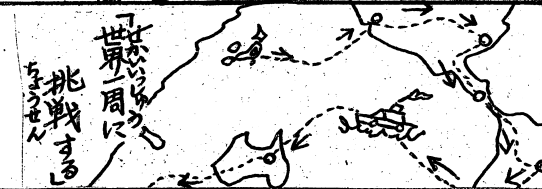
びょうき
やまい。病氣。

しっ ふう
疾風 →



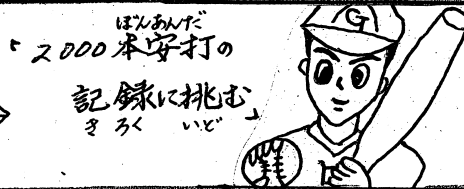
はやい ふう
速く吹く風。

ちょう せん
挑戦 →



たかいをいど
むこと

きろく いど
記録に挑む →



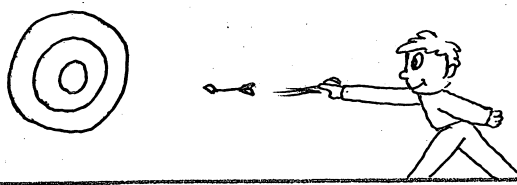
きろく ちょうせん
記録に挑戦する。

ぞ げき
狙撃 →



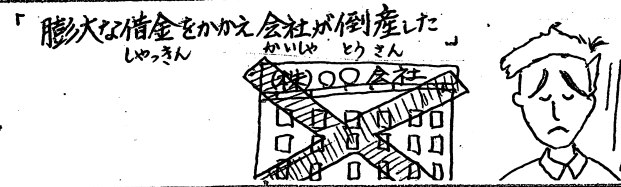
ねらいうつこと。

まど ねら
的を狙う →



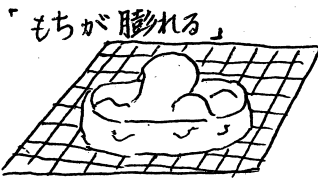
まど ねら
的に命中させようとして
かま 構える

ぼう たい
膨大 →



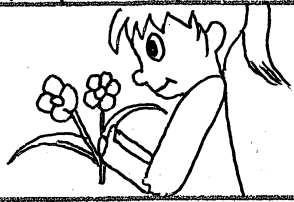
おお
ふくれて大きくなること。

ふく
膨れる →



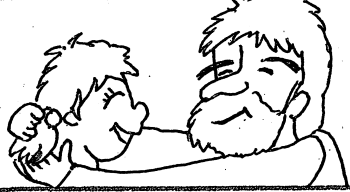
おお
がさが大きくなる。

おあめ
娘
こころ
心



おあめ
娘
しょうじょう
女の子の心。

まご
孫
おすめ
娘



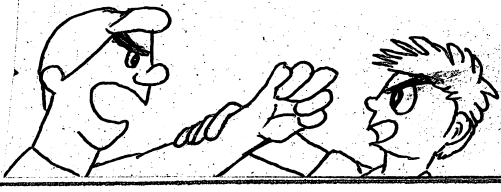
まご
おすめ
孫である娘。

こウ
抗
ギ
議



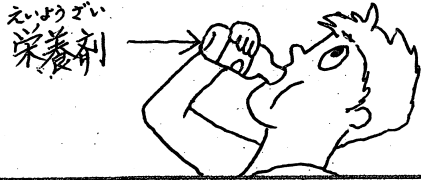
あいて
相手
はつげん
発言や行為など
たい
対して
はんたい
反対の意見
いけん
意見を
いうこと

はん
反
こウ
抗



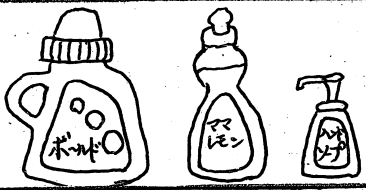
そあき
さからう
こと。
ていこウ
抵抗。

えい
栄
ようざい
養剤



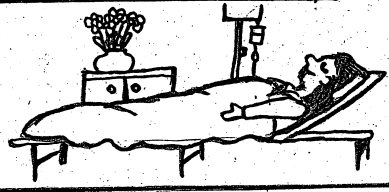
えいよう
栄養
ほきゆう
を補給
あるため
のドリンク。

せん
洗
ざい
剤



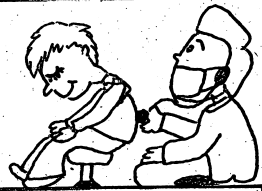
いぶく
衣服
しょっき
や食器
などを
あわ
洗剤
めい
に用いるもの。

りょう
療
よう
養



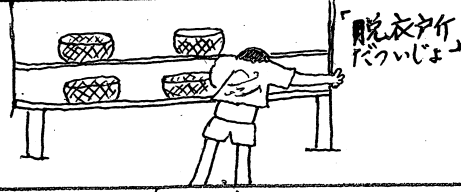
びやく
病氣
をなおす
ため、
ち
治
りょう
療し
ようじょう
養生
すること。

しん
診
りょう
療



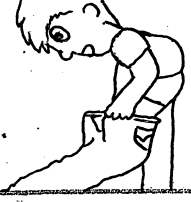
びやくき
病氣
やけが
をなおす
こと

だつ
脱
い
衣



いぶく
衣服
をぬぐ
こと。

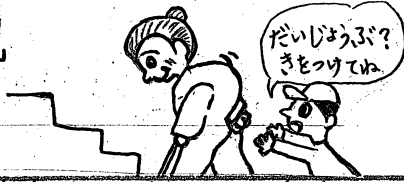
ふく
服
ぬ
を脱ぐ



み
身
につけて
いた服
と
ふく
を取り
去る。

ふく、し
福祉 →

「福祉社会」
ふくししゃかい



ひとびと しあわせ ニふく
人々の幸せ。幸福。

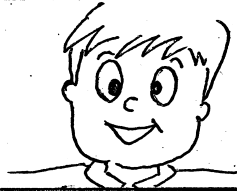
じゅ、れい
樹齢 →

樹齢千年
じゅれい せんねん
の大木
たいぼく



じゅもく ねんれい
樹木の年齢。

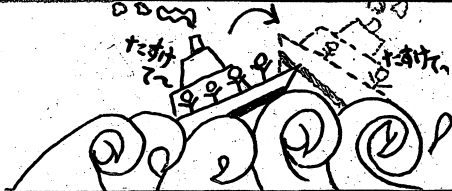
ねん、れい
年齢 →



僕は14才になりました!
ぼく さい

ひと う げん
人が生まれてから現
ざい ねんげつ かい
在までの年月を数えるもの。

そう、なん
遭難 →



とざん とうかい
登山や航海などで、
さいなん
災難にあうこと。

なん、あ
難に遭う →



おなん で
災難に出くわす。